



第102号 2021. 12 3
諏訪圏域障がい者総合
支援センター オアシス
tel 54-7713/fax 54-7723

■11月の自立支援協議会報告

*権利擁護委員会 1日(月)

- ・差別解消支援地域協議会について
- ・障害者虐待防止に関する、従業者への研修実施が事業所に義務付けられる事に対する圏域としてのバックアップ策の検討

*医ケア児部会 8日(月)

- ・＜講演①＞
にじいろキッズらいふ 主任 塩入大介氏
「令和元年台風19号以降のにじいろキッズらいふの防災の取組みについて」
- ・＜講演②＞
長野市児童発達支援センター
にじいろキッズらいふ看護師 長野市医療的ケア児等コーディネーター小林紀子氏
「医療的ケア児に対する災害対策」

*地域生活支援部会 17日(水)

- ・移動の課題について
- ・地域移行に関する入所施設への聞き取り調査について

*療育支援部会 30日(火)

- ・「諏訪圏域保育園・幼稚園・学校における関係機関の連携等に関する調査」まとめ
- ・発達障がいサポートマネージャーによるミニ講座



♣ 災害時における要配慮者への支援の仕組みを考える勉強会 ～災害時福祉支援の実践から～

【日時】 12月24日(金) 13:30～15:30

【場所】 いきいき元気館【諏訪市総合福祉センター】3階 交流ひろば
オンライン(Zoom)による配信を行います。

【実践報告】 岡谷市・茅野市 担当職員より～豪雨災害の現場から～

【講演】 講師：北原由紀氏(長野県災害福祉広域支援ネットワーク
南信地区チームリーダー)

【申込み】 12月10日(金)まで

【問合せ】 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 事務局

諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシス 担当：竹淵

TEL 0266-54-7713・0266-54-7723

MAIL takebuchi.m@suwa-oasis.jp

令和3年度 諏訪地域障がい福祉自立支援協議会
地域生活支援部会企画

災害時における要配慮者への 支援の仕組みを考える勉強会 ～災害時福祉支援の実践から～

令和3年
12月24日(金) 13:30～15:30
ハイブリッド開催！

いきいき元気館【諏訪市総合福祉センター】3階 交流ひろば
オンライン(Zoom)による配信を行います。
※オンライン受講を希望される方は、事前にURLを告知させていただきます。

実践報告
13:30～14:30
岡谷市・茅野市 担当職員より～豪雨災害の現場から～

講演
14:30～15:20
講師：北原由紀氏
(長野県災害福祉広域支援ネットワーク
南信地区チームリーダー)

※お申込み：12月10日(金)まで

お申込み
お問い合わせ
諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 事務局
諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシス 担当：竹淵
TEL: 0266-54-7713・0266-54-7723
Mail: takebuchi.m@suwa-oasis.jp

信州大学 子どものこころ診療部セミナー

♣ 子どものトラウマ理解とケア

【日時】12月11日(土) 10:00~12:00

【講師】岩手医科大学附属病院 児童精神科

岩手医科大学いわてこどもケアセンター 八木 淳子先生

【主催】信大附属病院子どものこころ診療部

【問合せ】<http://www.shinshu-u.ac.jp/hp/bumon/kokoro>



♣ 地域共生社会推進 長野フォーラム

このフォーラムは、「住み続けられる地域づくり」をテーマに、他分野の施策も学び、各地の取組を共有し、分野を超えた協働活動の促進を目的に開催します。

【日付】12月14日(火) 13:00~16:30

【参加方法】オンライン(Zoom)

【参加費】無料

【プロローグ】

『地域共生が目指す、住み続けられる地域づくり』

＜講師＞宮本太郎氏 中央大学教授 地域共生社会推進検討会(厚生労働省)座長

【基調講演】

『環境分野が取り組む地域共生～地域循環共生圏とは～』

＜講師＞和田篤也氏 環境省総合環境政策統括官

【シンポジウム】

『他分野でつながり、共生の地域を創る』

＜シンポジスト＞

【環境×福祉】藤田然氏(富士見高原リゾート株式会社)

【農林業×福祉】和栗剛氏(NPO法人わっこ谷の山福農林舎)

＜コメンテーター＞和田篤也氏 ＜コーディネーター＞宮本太郎氏

【申込方法】<https://forms.gle/4eDUcEK8bA2Qv86W7>

12月6日(月)までにお申し込みください。

【問合せ】社会福祉法人長野県社会福祉協議会総務企画部企画グループ

TEL 026-228-4244

FAX 026-228-0130

MAIL kikaku@nsyakyo.or.jp



♣ 生活困窮者支援推進セミナー・長野

これから先10年を見据えて、どのような地域社会を目指すべきか、そのためにどのような実践に私たちは取り組んでいくべきか、長野県における「あんしん未来」を創造していくために、皆さんと一緒に将来を描いていきたいです。

【日時】2月14日（月） 13:00～16:00

【場所】長野市若里市民文化ホール

〒380-0928 長野市若里3丁目22番2号

TEL 026-223-2223

【講演】これからの生活困窮者支援を見据えて

一法執行後の7年間を振り返り、これからの福祉社会を描く（仮）－

講師 村木 厚子氏

【対談】

長野県における生活困窮者支援の統括とこれからのあんしん未来創造のために

村木厚子氏／阿部守一氏（長野県知事）

【フロアセッション】コロナ禍を経て、新たに明らかになった生活課題について

【申込方法】 1月17日（月）までに下記の申込フォームURLより

<https://forms.gle/8BeLAAMjifweuc7J8>

【参加料】 無料

【定員】 200名 定員になり次第締め切ります

【主催・問合せ】

社会福祉法人長野県社会福祉協議会

TEL 026-226-2035

FAX 026-291-5180

MAIL ps-shinshu@nsyakyo.or.jp



生活困窮者支援推進セミナー・長野
2/14 13:00～16:00
長野市若里市民文化ホール
講師 村木 厚子氏
対談 阿部 守一氏（長野県知事）
フロアセッション 新型コロナを境に、新たに明らかになった生活課題について

第1回国立のぞみの園セミナー2021

♣ 障害のある人の生活習慣病 - 予防に必要なこと -

生活習慣病を、障害特性に合わせて予防するにはどうしたらよいのでしょうか。専門家のお話と併せて支援現場での具体的な取組を参考にしながら、生活習慣病予防について学ぶ機会にしたいと思い企画しました。

【配信期間】 12月15日（水）～2月28日（月）

【参加費】 お一人様1,000円 書籍「生活習慣病予防」付

【申込締切】 2月10日（水）まで

【申込み】 <https://www.nozomi.go.jp/>

【問合せ】 国立のぞみの園事業企画部研修・養成課 [担当] 木村、山口

TEL 027-320-1357

MAIL nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp

第1回国立のぞみの園セミナー2021
障害のある人の生活習慣病 - 予防に必要なこと -
配信期間 令和3年12月15日（水）～令和4年2月28日（月）
参加費 お一人様1,000円 書籍「生活習慣病予防」付
申込締切 令和4年2月10日（水）まで
お問い合わせ 国立のぞみの園事業企画部研修・養成課 [担当] 木村、山口

♣ ガレージとーく うつ病で、語る、つながるミーティング

『ガレージとーく』は、うつ病の当事者を対象としたピアサポートの場です。ミーティングでは当事者同士が集まって、悩んでいること、苦しんでいることなどを話します。周りの人にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」を共有し支え合うことで、繋がりが癒しを感じてみませんか？

【日時】12月19日（日） 13:30～16:30

【会場】塩尻市市民交流センターえんぱーく 会議室202

【参加対象】診断や疾患に関わらず、うつ症状のある方

【定員】10名（申込先着順で定員になり次第締め切ります）

【参加費】500円（会場費・運営費として）

【参加申込】下記のアドレスからお申し込みください

<https://garagetalk88.peatix.com/>

【問合せ】任意団体NPO うつリカバリーエンジン

TEL 090-4823-7494（代表：長谷川）

MAIL garagetalk@u2recovery.org

HP <https://u2recovery.org>



令和3年度 サンスポート駒ヶ根

♣ 出張スポーツ・運動教室（Ⅲ期）

《実施期間：令和4年1月～3月》

指導員が、みなさまの施設や団体にお伺いして「スポーツ・運動教室」を行います！

【対象】南信・木曽地域の障がい者支援施設及び障がい者団体

【実施期間】Ⅲ期 令和4年1月から3月末まで

【日時】平日（※祝日を除く、月・火・木・金）

【月・木】10:00～12:00 【火・金】10:00～17:00

※上記時間帯以外や土日祝日での活動をご希望の場合は、ご相談ください。

※毎月第2火曜日は休館日の為、実施できません。

【費用】無料

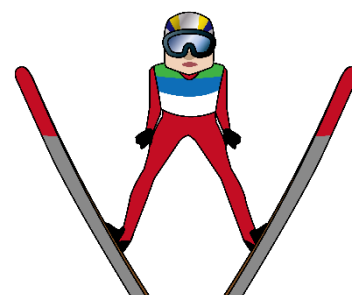
【会場】頼団体側で会場を準備してください。

【内容】

時間	60分程度（相談に応じます）
種目	ストレッチ、音楽体操、レクリエーションなど （細かな内容、上記にない内容はご相談ください。）
人数	30名程度まで（ソーシャルディスタンスを保てる人数とする）

【申込受付期間】Ⅲ期 11月19日（金）から12月20日（月）まで

【問合せ】障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根「サンスポート駒ヶ根」



〒399-4117 駒ヶ根市赤穂1694 長野県看護大学プール棟
TEL・FAX 0266-82-2901
MAIL ks2sport@mx2.avis.ne.jp (担当: 吉田・柴山)

♣️ トラウマインフォームドケア

～対象者と支援者・組織の安全を高めるアプローチ～

トラウマの存在を認識し、「トラウマを理解した対応」をするとはどういうことなのか。新たな視点を参加者の皆さんと共有できればと思います。

【基調講演】 トラウマインフォームドケア

～対象者と支援者・組織の安全を高めるアプローチ～

【講師】 大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 野坂祐子氏

【オンデマンド配信期間】 12月1日(水)～3月15日(火)

【鼎談】

【オンデマンド配信期間】 2月15日(火)～3月15日(火)

【講師】 大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 野坂祐子氏

立命館大学法学部 教授 森久智江氏

国立のぞみの園 参事 (山口県立大学社会福祉学部教授) 水藤昌彦氏

【分科会】

【オンラインによるグループワーク開催日時】

2月17日(木) 9:30～16:00

【参加費】 3,000円(資料代として)

【申込期間】 11月8日(月)～1月21日(金)

【定員】 なし(各分科会については20名)

基調講演と鼎談のみでもご参加いただけます。

【申込み】 独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

研修養成課 木村・山口

TEL 027-320-1357

MAIL nozomi-seminar-01@nozomi.go.jp



このオアシス通信は就労移行支援事業所SAKURA岡谷センターの利用者様が研修の一環として作成しています



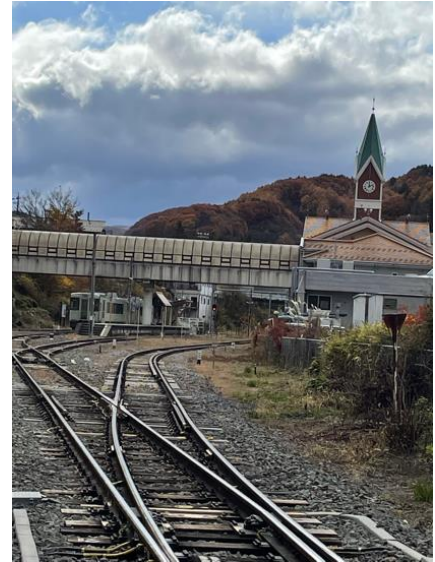
■リレーずいそう 第101回

多機能事業所「ちゃお」支援員 尾形園子

「小海線の旅」

今月に入って2回、ちゃおのメンバーと「小海線の小さな旅」を楽しんだ。「電車の無人駅に立ち寄ってみたいね。」が始まりだった。最近の私たちのブームは、鉄道の廃路線や廃トンネル、ひっそりと人気のない小さな神社や祠を訪ねることだった。立ち歩きできずに、止まって風化していく存在の寂しさの中にある美しさや、怪しい雰囲気の中にある得体の知れない生気を、目で見て、肌で感じることは、自分の命を見つめることにもつながっていた。

そういう場所にメンバーと行っているうちに廃村や無人駅の話になった。ロマンを感じるのだ。廃村には物語がある。無人駅にはその地の人口や路線利用者の問題があるわけで、その2つには関係性もないわけだが、やはり似たようなロマンがある。私たち仲間（メンバー3人）の想像力をかきたてる。一致する興味関心を持つことは、人との関係の距離をグッと近くする。言葉によるコミュニケーションがあまり必要でなくなるので、気楽に会話できる。



旅の決行

まず身近な、無人駅をたくさん持っている路線を調べた。時間と予算も検討した。これがなかなか勉強になった。自分の都合と他人の都合を考えることが自然にできた。小さな旅の始まり。計画して実行。ワクワクしながら電車に乗る。「飲み物調達の配慮」までできたFさん、ゆとりありますね。人が周りにいない座席を選んだMさん、自分を大事にしますね。

降車する駅は無人駅を選ばなかった。いろいろ理由もあったが、停車する駅がほとんど無人駅だったので、写真も撮れた。降車した駅は、小海。私達3人の誰も小海という駅や、その地を知らない。駅舎は可愛らしい。けど、店は殆どシャッターが下ろされ、道ゆく人もいない。「寂しいね。」と言いながら町を散策、小さくて、暗い防空壕のような横穴を人家の空き地に発見。「なんだろう？この穴」そしてさらに歩き、橋の上で素敵なオブジェ見つけた。なんかジンときた。これが、その題名も作者もないオブジェ。

橋の上にこれだけ。近くのベンチに腰掛けてしばらく眺めた。

「キスしてるね。」「愛しあってるね。」「仲良しだね。」 照れくさそうに話したが、明るい気持ちになった。性を素直に、肯定的に受け止めた瞬間。その後、私達は大満足で帰路に着いた。その2日後、私は、他のメンバーと、もう一度小海線に乗った。電車そのものに乗ることが目的のKさん。降りた駅は「松原湖」。これまた寂しい無人駅。松原湖まで山道30分。土産物



店、殆ど閉まっていて、誰もいないボート乗り場がプラプラ。特別お願いして、弁当食べさせてもら



った釣り道具店で、弁当食べていると、どやどや釣り仲間の方達。女の人のおしゃべり。私とKさんは、緊張して心の耳に蓋をして、耐えた。緊張を共有することで妙な仲間意識。店の方にお礼を伝え、そそくさと、外に出て、あてもなくプラプラ。「ふーん」と言ってしばらく歩くと、なんと素敵なオブジェ発見！！ 湖面の光の中で！

「え??」あなたたち、小海から歩いてきたの?というわけで、私は大満足。というわけで、小さな旅は、必ずお土産をくれる。

次は、自立訓練事業所のアートカレッジちゃおの小平健留さんへバトンをお願いします。

リレー随想は、地域のネットワークづくりのために皆さんに御協力いただいています。 前の方からお声が掛かりましたらぜひお引き受けいただき、20 日までに 原稿（内容・字数等 お任せします）をオアシス野溝までお送りください。そして 次の方をお願いをしていただければと思います。

■ 12月の日程（自立支援協議会、オアシス）

- 12月 4日（土）13：00 みんなが輝く地域づくりフォーラム
- 12月 7日（火）13：30 就労支援部会
- 12月 8日（水）13：30 相談支援部会
- 12月 13日（月）13：30 かりんカフェ
- 12月 27日（月）13：30 かりんカフェ



1年間たいへんお世話になり、ありがとうございました。

よいお年を、お迎えください。

